

災害対応eラーニングについて

1. 災害対応eラーニングの概要
2. 災害対応eラーニングの公開・視聴状況
3. 今後の検討事項

1. 災害対応eラーニングの概要

■ eラーニングの目的

災害時に活動する応援職員等が、現地で従事する業務について標準化された業務手順(Standard Operating Procedure)を短時間で学ぶことにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る。

■ 対象テーマ

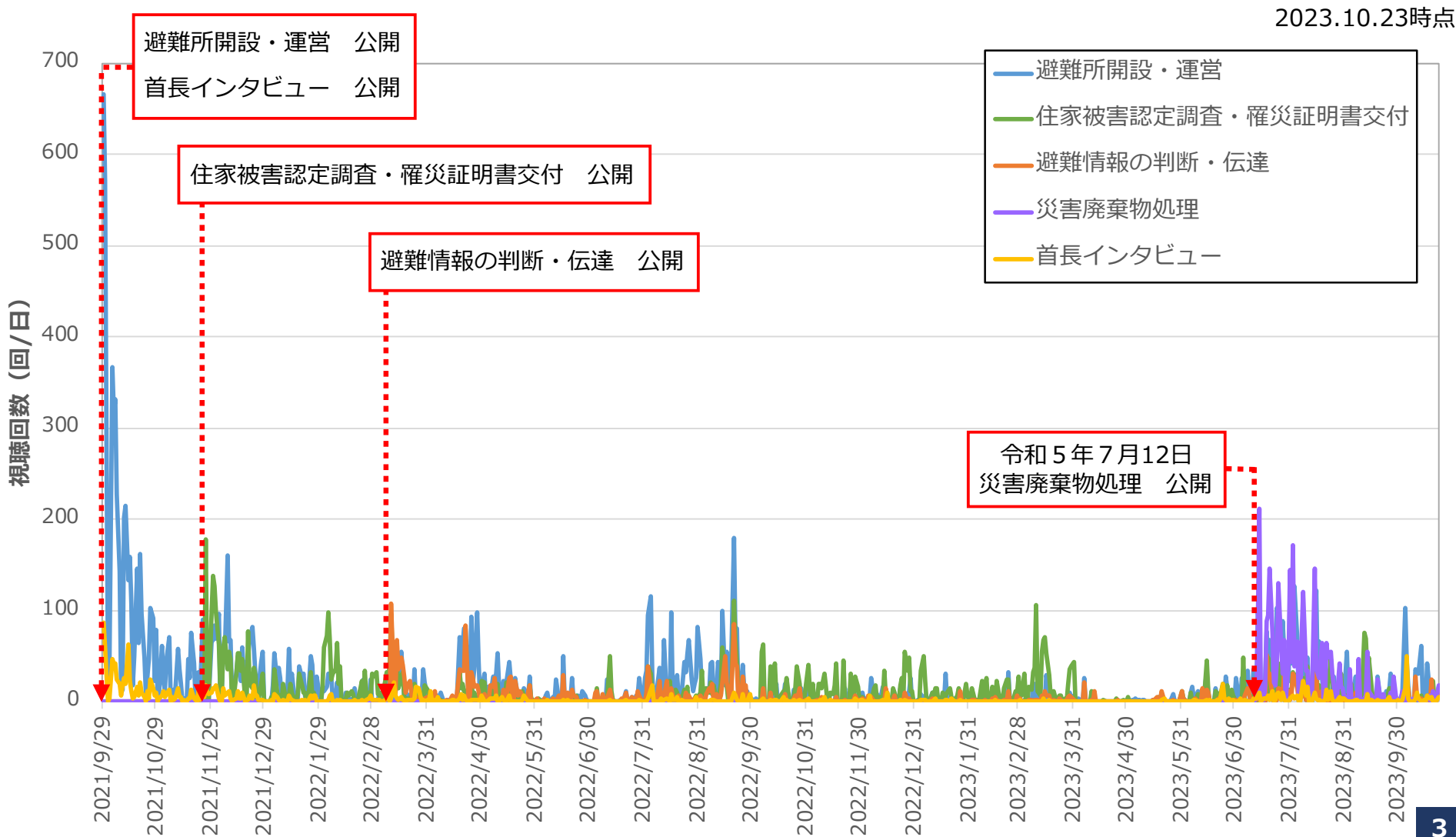
防災基本計画を踏まえ、災害時に多くの応援職員等が即戦力として活躍することが期待される下記の業務を当面のテーマとする。

- ・ 避難所開設・運営 (済)
- ・ 避難情報の判断・伝達(済)
- ・ 災害廃棄物処理(済)
- ・ 住家被害認定調査・罹災証明書交付 (済)
- ・ 要配慮者への支援
- ・ 防疫
- ・ 遺体処理

※ 現在公開準備中

2. 災害対応eラーニングの公開・視聴状況

総視聴数 30,766回	①避難所開設・運営 15,480回	②住家被害認定調査・罹災証明書交付 7,720回
	③避難情報の判断・伝達 2,889回	④災害廃棄物処理 2,787回 首長インタビュー 1,890回



3. 今後の検討事項

■ eラーニングの作成方法について

➤ 対応：eラーニングコーディネーターによる報告会の開催

- 第4回企画検討会にて、コーディネーターからご報告頂く。
- 企画検討会にて作成方法等についてご意見をいただく。

■ 企画検討会でのご意見と対応案

(第2回企画検討会)

- eラーニングは、今後もっと幅広く平常時の取組みも対象としてはどうか。

➤ 対応：今後の災害対応eラーニングの在り方を検討

- 本年度中にこれまで作成してきたテーマの公開を目指す。
- 従来目的である、「災害時に活動する応援職員等が、災害現場で従事する業務内容・手順等について、常時、短時間で学習することにより、地方公共団体の災害対応力の向上を図る」を踏まえて、今後の災害対応eラーニングの在り方について検討する。

今後の災害対応eラーニングの整備計画

